

資料1

駅東口周辺地区の 将来像

第3回 桶川駅東口周辺地区まちづくり懇話会

平成24年 9月25日(火)

於:桶川市商工会館 2階 会議室





第2回の意見から

①地区全体のこと

○多かった意見

→ 「居住」を想定した意見

- 高齢化、人口増
- 「現状」の「いいところ」
ご挨拶、静か

→ 「商業」を想定した意見

- 活性化

地区全体で「居住」と「商業」が両立するイメージ



第2回の意見から

②新しい駅通りのこと

- 多かった意見

- 「景観」、「商業」を連想させる意見

- ・ 昔のイメージ、商店街

- 「都市基盤」に関する意見

- ・ 歩行者と自転車の通行区分

駅通りは「商業（商店街）」が中心のイメージ

統一感のある街並み



第2回の意見から ③南小跡地のこと

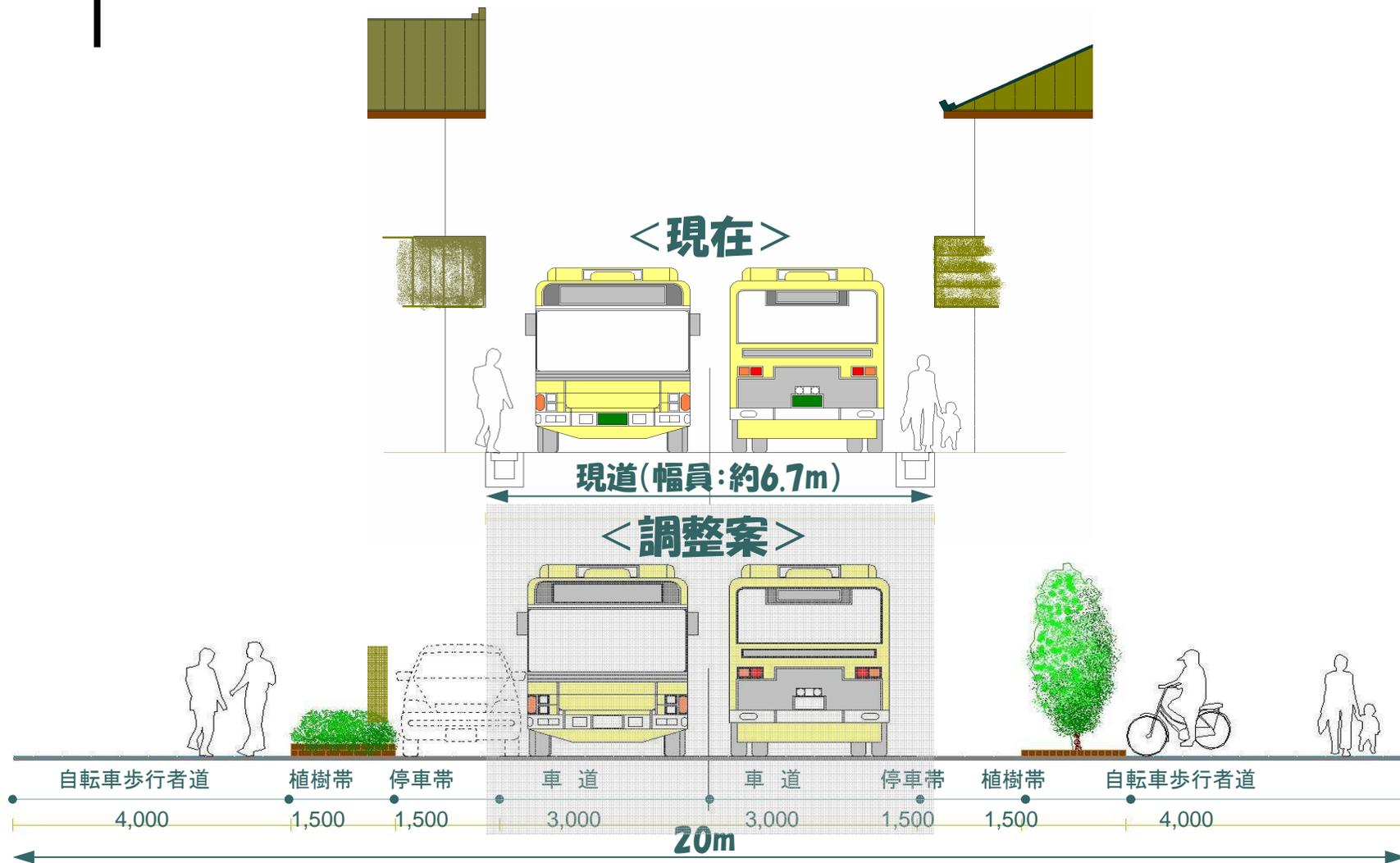
○ 多かった意見

→ 「公共公益施設」、「オープンスペース」、「商業的な土地利用」、「複合利用」を希望する、連想させる意見

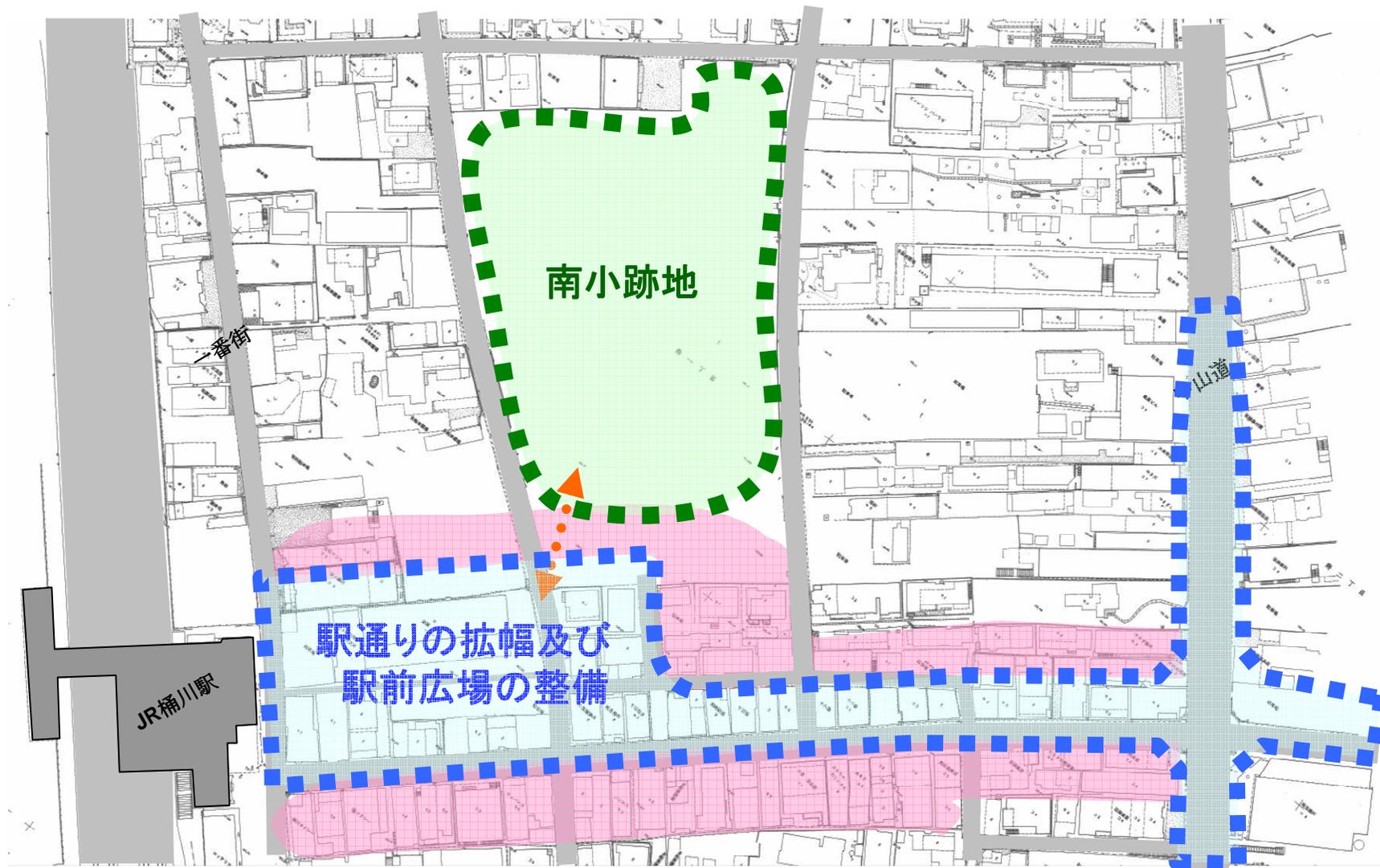
- ・ 支所、避難、コミュニティ

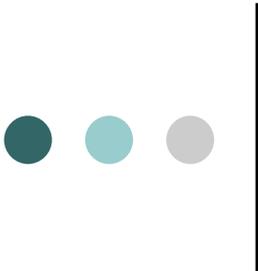
南小跡地は地域の皆さんの生活に寄与する施設を中心としたイメージ

新しい駅通りの幅員構成



新しい駅通りの事業範囲等





事業の効果

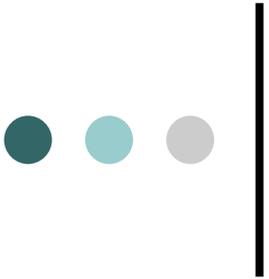
- 道路通行環境の向上
- 防災性の向上
 - 緊急輸送路・避難路の確保
 - 延焼防止帯の形成
 - 建築物の不燃性や耐震性の向上
- 新たな東口需要(利用者)の掘り起こし
 - 企業送迎バス、観光バス、長距離バス

沿道まちづくりの関係権利者

- 直接の関係権利者
 - 用地買収等の対象者
- 密接な関連のある関係者
 - 道路計画の南一丁目側沿道の地権者
 - 道路計画の寿一丁目側沿道の地権者
(北側の2列目)

土地利用等について、まずは沿線の関係者の意向や相互の理解が基本

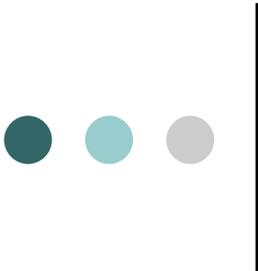
- 駅・駅周辺利用者



新しい駅通りに対する 意見の共通点

- 「商業(商店街)」を中心としたイメージ
- 統一感のある街並み

→ 皆さんがイメージしている沿道とは？



新しい駅通りの形成①

※ イメージの実現には、取り決め(ルール)が必要

○ 沿線の土地利用

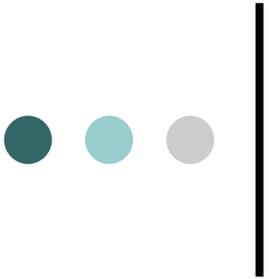
- ・ 建物の用途や規模、高さなど

○ 沿線のデザイン

- ・ 建物の形態や色など
- ・ 看板の規制など

ルールを公的に担保する制度 → 地区計画

※ ルール策定の主体は、関係権利者



新しい駅通りの形成②

- 道路に求められる機能
 - 自転車道の取扱い、バリアフリー、基本的な設計(平面、横断等)
- 道路のデザイン
 - 植栽計画、電線地中化、舗装の仕様、ストリートファニチャー等